



# IELTS Writing

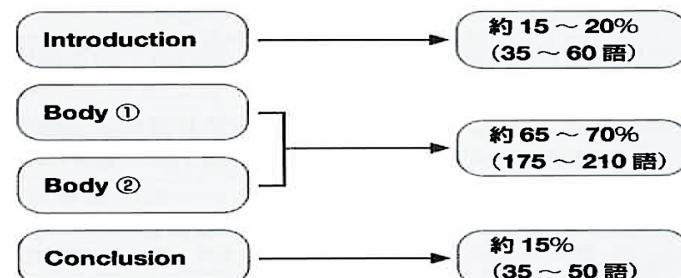
TASK 2 エッセイの構成

## Task 2 エッセイの構成をマスター！

ここからはエッセイの書き方と構成について見ていきましょう。Task 1 と同じように、**構成 (organisation / structure)** の重要性、特に**パラグラフごとに分けて書くこと (paragraphing)** は不可欠です。まずは全体の構成の概要から見ていきましょう。

項目	概要
<b>Introduction</b> (イントロダクション：導入)	エッセイの <b>主題</b> と、それに対する <b>自分のスタンスと根拠</b> を簡潔に書きます。
<b>Body</b> (ボディ：本論)	イントロで述べた内容を具体例を挙げながら詳細に書いていきます。複数で構成します。
<b>Conclusion</b> (コンクリュージョン：結論)	ボディの内容を軽く要約し、イントロで書いた <b>自分のスタンス</b> をもう一度述べます。

必ずこの構成と内容で書いてください。では次に分量について見ていきましょう。Task 2 は 250 語以上書くことが条件ですが、Task 1 同様**多く書けばスコアが上がるというわけでもありません**。むしろ **270 ~ 300 語程度で、無駄のない引き締まった文章を書く**方が重要です。では理想的な割合と語数を示した下の図を見てていきましょう。



\* Body は 3 つで展開することもあります。

このように普段からシンプルかつスリムに書くことを意識してください。では各項目の本題に入る前に、例題で実際のエッセイをご覧いただき、大まかな流れをつかんでいただきましょう。こちらの問題を取り上げます。

### Sample question

**Recent developments in technology have greatly changed our ways of life in a positive way.**

**To what extent do you agree or disagree with this statement?**

Write at least 250 words.

## Model essay をチェック

\* 太字は重要 Cohesive devices (結末語)

It is often pointed out that technological advancements over the past several decades have significantly improved the lives of many people across the globe. I mostly agree with this claim **because** widespread use of various technologies has benefited society as a whole in terms of efficiency in production and shopping.

**Admittedly**, despite its evident assets, there are several drawbacks to recent technological progress. One such negative point is the increased exposure to cybercrime. Internet users, especially teenagers and computer-illiterate adults, are likely to fall victim to identity theft, fraud or hacking when they inadvertently access harmful websites or download virus-infected data. These potential risks can not only cause a significant financial loss among users, **but may also** result in an invasion of privacy.

**Aside from** these flaws, **however**, one major example of progress in technology is enhanced efficiency in production for various industries. In the manufacturing sector, **for instance**, extensive automation and the introduction of industrial robots have enormously contributed to increased output of quality products with greater speed and precision than those created by human workers. These improvements have not only boosted overall productivity, **but also** helped many companies cut labour costs.

**Another** benefit is the increased availability of online shopping. This method has enhanced the quality of people's lives, especially for those who have more difficulty shopping in person, such as rural residents, families with young children and the elderly with limited mobility. They can order almost anything they need, from groceries to household items regardless of location, family circumstances or physical capabilities.

**In conclusion**, **although** internet users can be exposed to some internet-related crime, I would argue that technological development has brought considerable benefits, including improved industrial efficiency and access to online stores. (286 words)

## スコア UP 重要語彙をチェック！

- admittedly** (確かに)  **exposure to ~** (~にさらされること)
- computer-illiterate** (コンピュータにうとい)  **fall victim to ~** (~の被害者となる)
- inadvertently** (うっかりと)  **extensive automation** (大幅な自動化)
- boost productivity** (生産性を高める)
- limited mobility** (移動の自由が制限されていること)
- family circumstances** (家庭の事情)

### 【日本語訳】

過去数十年にわたるテクノロジーの進歩により、世界中の多くの人々の生活が大幅に改善されたとよく指摘されます。さまざまな技術の普及は、生産や買い物の効率性の面で社会全体に恩恵をもたらしているので、私はこの主張にほぼ同意します。

明らかな利点があるのは確かですが、最近の技術進歩にはいくつかの欠点があります。そのマイナス点のひとつは、サイバー犯罪への露出の増加です。インターネットユーザー、特に10代の若者やコンピュータに精通していない成人は、うっかりと有害なサイトにアクセスしたり、ウイルスに感染したデータをダウンロードしたりすると、個人情報の盗難、詐欺、ハッキングの被害に遭う可能性があります。これらの潜在的なリスクは、利用者に重大な経済的損失をもたらすだけでなく、プライバシーの侵害にもつながる可能性があります。

しかし、これらの欠点は別として、技術進歩のひとつの主要な例は、さまざまな産業における生産効率の向上です。例えば、製造業では、大規模な自動化と産業用ロボットの導入により、人間の労働者が造ったものよりも、高速かつ正確に高品質の製品の生産量が増加することに大きく貢献しています。これらの改善は、全体的な生産性を向上させるだけでなく、多くの企業が人件費を削減するのにも役立っています。もうひとつの利点は、オンラインショッピングの利用性が向上することです。この方法は、特に農村部の住民、小さな子供連れの家族、身体の不自由な高齢者など、直接買い物をするのが難しい人々の生活の質を向上させました。場所、家族の状況、または身体能力に関係なく、食料品から家庭用品まで、必要なほとんどすべてのものを注文することができます。

結論として、インターネットユーザーはインターネット関連の犯罪にさらされる可能性がありますが、技術開発は産業効率の向上やオンラインストアへのアクセスなど、かなりのメリットをもたらしたと強く思います。

全体像はつかんでいただけましたか？ここまで書ける必要はありませんが、現時点ではざっくりとした構成を理解できれば十分です。ではここからは、エッセイの構成と作り方を詳しく見ていきましょう。

## イントロダクションはこう書くべし！

イントロの役割は「**テーマの内容と自身のスタンス**」を伝えることです。わかりやすく言うと、「何についてのエッセイで、あなたはどう考えるの？」ということを読み手に伝える大切な部分です。ここで重要なポイントは「**簡潔に書く**」ということです。つまり、できるだけ早くイントロを仕上げ、勝負となるボディパラグラフに時間を費やせるようにすることが効果的な戦略です。IELTSのイントロは次の2つの要素で構成します。

### ・**General statement** (ジェネラルステートメント)

背景、つまりエッセイのテーマを読者に伝える文です。IELTSでは設問文と同じ表現をできるだけ使わずに言い換えます。それ以外の情報は不要です。

### ・**Thesis statement** (シーセスステートメント)

自身のスタンスについて述べます。例えば「概ね賛成だ」「前者の意見の方を指示する」などを明確にし、その理由を簡単に書きます。

これ以外の情報や、ドラマチックなインパクトなども一切不要です。また、**いくら洗練されたイントロを作ってもスコアアップにはつながりません**ので、簡潔さを心がけてください。では先ほどの Sample question を取り上げて一緒に見ていきましょう。

下線部①が設問文の言い換え (General statement)、下線部②が自身のスタンスと意見 (Thesis statement) を述べた文です。まずは読んで意味を理解してください。

① It is often pointed out that technological advancements over the past several decades have significantly improved the lives of many people across the globe. ② I mostly agree with this claim because widespread use of various technologies has benefited society as a whole in terms of efficiency in production and shopping. (50 words)

問題タイプにより若干構成は異なりますが、基本的にはこの① General statement ⇒ ② Thesis statement の流れが原則です。特にこの①言い換え (パラ

フレーズ) は文意を正確にくみ取り、文脈に合わせて適切な類語を選択する力が求められます。

## ボディはこう書くべし！

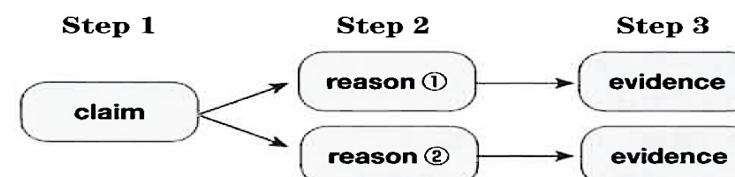
ボディの構成に関しては、各エッセイタイプごとに後ほど詳しく見ていきます。ここでは論理的な意見の展開方法について考えます。まずは最重要キーワードのひとつである **Argument** (論証) について学習していきます。これを理解せずしてIELTSをはじめとしてアカデミックなエッセイを書くことはできないので、留学前に必ず身につけておくべき項目です。まずは基本から見ていきましょう。

### Argument とは？

**Argument** (アーギュメント、論証) とは「**読み手や聞き手を納得させるための論理的な話の組み立て、構成**」という意味です。ではまず手始めに、次の「都会か、田舎での生活どちらの方がよいと思うか？」という問い合わせに対するアーギュメントを日本語でご覧ください。

(1) 都会での生活よりも田舎の生活の方がよい。 (2) なぜなら、都市部よりも住環境がいいからだ。 (3) 例えば、交通量や産業活動が少ないため、空気がきれいです。騒音もほとんどない。また、人が少ないとから、犯罪件数が低く治安もよいため、安心で快適な生活を送ることができます。

話の流れは、下線部①で自分の意見を述べており、これを **claim** (自分のスタンス、主張) と言います。次に下線部②は **reason** (理由)、そして下線部③は②の理由を裏付けるための **evidence** (根拠、具体例) となっていますね。この3つの組み合わせと話の展開方法が **argument** です。図で表すと以下のようになります。



これは IELTS の Task 2 仕様に簡略化したものです。一般的なアカデミックなエッセイでも概ねこれが標準です。ではさらに具体的に解説していきます。

まず **Step 1** ではテーマに対して **自身のスタンス (claim)** を述べます（例：～にはおおむね賛成だ）。これは先ほど触れた **Thesis statement** と同じです。次に **Step 2** ではなぜそのようなスタンスを取るのか、という **理由 (reason)** を述べます。ここではざっくりとした抽象的な内容で構いません。最後に **Step 3** で理由をサポートする **根拠や具体例 (evidence)** を提示します。つまり、イントロダクションで **claim** を述べて自身のスタンスをはっきりと伝え、ボディでこの **Step 2 + Step 3 を書くことになります**。これは、アカデミック・ライティングのルールの項目で述べた **General to specific** (抽象から具体) の流れと同じです。ちなみに、理由 1 つに対して、**evidence** は 2 つで構成するとアーギュメントが強くなります。加えて **evidence** の内容は、説得力を高めるため、個人的な事例ではなく **fact** (事実)を中心で提示します。次のような例が考えられます。

#### 1. 歴史上の事実 (historical fact)

例) アメリカは 1776 年にイギリスから独立した。

#### 2. 統計上のデータ (statistical data)

例) 世界の人口は 2000 ~ 2020 年の間で約 17 億人増加した。

#### 3. 一般的に認識されていること (popular beliefs)

例) 親の言動や考え方は子供の成長に影響を与える。

#### 4. 科学的に証明されている事実 (scientific fact)

例) ビタミン C 不足は、免疫機能の低下や慢性疲労を引き起こす。

#### 5. 実際に実施されていること (action / policy / law / campaign など)

例) デンマークは、医療費や出産費が無料である。

#### 6. その他の一般常識、事実、時事ニュース (マイナーなものは除く)

例) ヨーロッパは 44 の国で構成されている。

つまり、当てはまるケースが限定的な次のような例は書いてはいけません。

- ・(×) 高校生の時に～だったので
- ・(×) 地元の駅の近くでは…だ
- ・(×) 今いる大学 [職場] では～である
- ・(×) クラスマート [同僚] の多くは…なので

アカデミックなコンテクストでは、こういった個人的なエピソード (**anecdotal evidence**) を用いて主張することはナンセンスです。ただし、IELTS では一般的なアカデミックエッセイのような引用は不要です（例：～大学の…教授が 2020 年に発表した研究によると～）。では、先ほどの都市での生活と田舎での生活の例を用いて、英語に訳すと次のように書くことができます。

① Country life is better than city life for several reasons. ② Firstly, rural areas usually ensure a better living environment than urban areas. ③ For example, they have cleaner air and water and lower carbon emissions due to less traffic and industry, which is beneficial to health. ④ Also, relatively low crime rates can be found in the countryside due mainly to lower population density\* and commercial activities, providing greater security for the residents.

\* population density: 人口密度

①が **claim**、②が **reason**、③④はアとイの 2 つの **evidence** を提示することで **reason** をサポートしていますね。自然な論理展開の流れはつかんでいただけましたか？ これはスピーチングの Part 3 (ディスカッション) でもこの構成方法で話を展開すればよいので応用が可能です。では最後にコンクリュージョンを見てきましょう。

## 結論部はこう書くべし！

一般的なアカデミックエッセイや論文では、コンクリュージョンで予測や提案を述べることもあります。しかしながら、IELTSのエッセイでは先に述べたようにボディの内容を軽く要約し、イントロで書いた自分の立場をもう一度述べるだけです。では先ほどのモデルエッセイのコンクリュージョンを引用して見てきましょう。

① In conclusion, although internet users can be exposed to some risks caused by internet-related crime, ③ I would argue that technological development has brought considerable benefits, including improved industrial efficiency and access to online stores.

①は In conclusion (結論として) という副詞で始まっています。他にもさまざまな表現がありますが、これ以外は不要です。続けて②は2つ目のボディパラグラフで述べたデメリットに関する内容をまとめた1文です。最後に③は I would argue that のようにもう一度自分のスタンスを明確にし (restatement)、1つ目のボディパラグラフで述べたメリットに関する内容を要約しているのがおわかりいただけると思います。よって、これ以外の補足情報や、ボディに書かれていない新情報は書いてはいけません。加えて、時間が足りずに、結論部が書けない、または未完成だとスコアに大きく影響するのでタイムマネジメントに注意しましょう。

以上でエッセイの構成についてのレクチャーは終了です。お疲れさまでした。エッセイの大まかな全体的な流れは理解していただけましたか？ ではここからは Task 2 で重要な4つのポイントを確認しておきましょう。

## 【Task 2】4つのワンランク UP ポイントをチェック！

### 【ポイント①】— 使い古されたテンプレートは使わない！

国内外の IELTS のサイトを見ていると、テンプレート（減点されないための暗記表現）がいろいろと紹介されています。特にイントロダクションの設問文で述べる際に使われるケースが多く見られます。例えば次のような表現がその一例です。

1. Nowadays, ~ is a highly controversial [debatable] issue around the world.
2. ~ has generated heated [fierce] debate [discussion] about whether ....
3. It is an undeniable fact that ~ has been a focus of attention in recent years.
4. This topic is a complicated issue, and there are both pros and cons to this issue.

こういった情報は、試験官も研修を受けているので見ればすぐにわかります。また、前後の文脈とマッチしていなかったり、テンプレートの箇所だけ洗練されないと、その箇所だけ浮きがちです。ちなみに、このように丸暗記 (Memorised) とみなされると、その部分は文字数にカウントされません。ですので、このような無意味な表現は使わず、日頃の積み重ねで培った英語力でエッセイを仕上げましょう！

### 【ポイント②】— 具体化する習慣をつけよ！

「アカデミック・ライティングのルール」の章でも触ましたが、設問に抽象的な表現がある場合は、具体的に書く必要があります。次の問題の下線部に注目してください。

People today have a better quality of life than those in the past.

To what extent do you agree or disagree with this statement?

ここでは、a better quality of life とは一体どんな生活なのか、those in the past はいつの時代の人なのか、を具体的に書く必要があります。このように IELTS は抽象的な表現を具体化、自分の言葉で定義化させる問題を好む傾向にあり、どこまで深く掘り下げるかがポイントです。そしてここで効果的なアプローチが、分野を絞り込むことです。では a better quality of life を具体化するために、例としていくつか分野を考えてみましょう。

教育	サイエンス	テクノロジー	芸術・娯楽
ビジネス	環境	法律	国際関係論

例えば、「テクノロジー」であれば、AIやロボットの普及により、生活の質はどんな場面で、どんな影響があり良くなかったか、悪くなかったか、といったように掘り下げればアイデアが思い浮かびやすくなります。加えて、抽象的な表現は、自分の言葉で具体的に例を交えながら定義して説明する習慣をつけてください。これにより、スピーチングも含め発信力がアップします。例えば、特に抽象的な「cultureって何?」「globalisationって何?」「economic growthって何?」のように問われた場合にしっかりと説明できる力のことです。よって、常に訳語を超えた描写力を意識した学習を心がけましょう！

#### 【ポイント③】—各ボディの最後でまとめの1文は基本的に不要！

よく各ボディパラグラフの最後に、Therefore, ~. や For these reasons, .... のようにパラグラフの内容をまとめているケースが見受けられますが、基本的に不要です（ただし、前述の内容を表現豊かに効果的にパラフレーズしている場合は、例外としてOKです）。これは **restatement**（言い直し、要約）と言い、読み手にパラグラフの内容を再度伝えるために、それまで書いた内容を要約する手法で、大学（院）で書くような3000～10000語レベルのエッセイや論文では字数が多いため必要ですが、IELTSのような1パラグラフ100語前後の短いエッセイでは不要で、**restatement**は結論部で書くだけで十分です。

#### 【ポイント④】—Counterargumentを入れよ！

**counterargument**とは「反論」を意味し、**argument**の説得力を高める方法です。自身の見解を述べる際は、常に読み手からの反論や指摘、いわゆる「つっこみを意識すること」が大切です。つまり、一方的に「～だ」と主張するばかりでなく、「…の可能性もあるが」「確かに…という事例もあるが」のように、例外や異なるケースを予測することが隙のないアーギュメントを作るポイントです。まずは **counterargument**がない、一方的なアーギュメントから見ていきましょう。

- (a) Urban life is unhealthy and stressful.  
(都会での生活は不健康でストレスが多い)

ではこれに **counterargument**を加えた、(b) と (c) の文をご覧ください。

- (b) **Although living in the city can be exciting**, urban life is unhealthy and stressful.  
(c) **Living in the city can be exciting; however**, urban life is unhealthy and stressful.

(a) はマイナス面だけの主張に対して、(b) と (c) は **although** や **however**を用いて「都会に住むことは刺激的**だが**」という形でプラス面を述べています。このように反論を述べることで、自身の主張がより際立ちます。よって、考えを主張する場合は、常に反対意見を考えながら話を展開するマインドが大切です。次の表現は **counterargument**を述べる際に有効なので覚えておきましょう。

➤ while / nevertheless / despite / however / unlike / although / this may be the case but ~

ちなみに、**counterargument**はこのように**文単位**で書くこともありますし、**counterargument**だけの**パラグラフ**をひとつ作って書く場合もあります。また、目安として6.5までが目標なら不要ですが、7.0以上を目指す人は、機会があればエッセイ内に1文入れることを意識してみてください。

以上で Task 2 の概要と頻出分野についてのレクチャーは終了です。次は5つのエッセイの種類について見ていきます。基礎固めもラストスパートです。続けてまいりましょう。